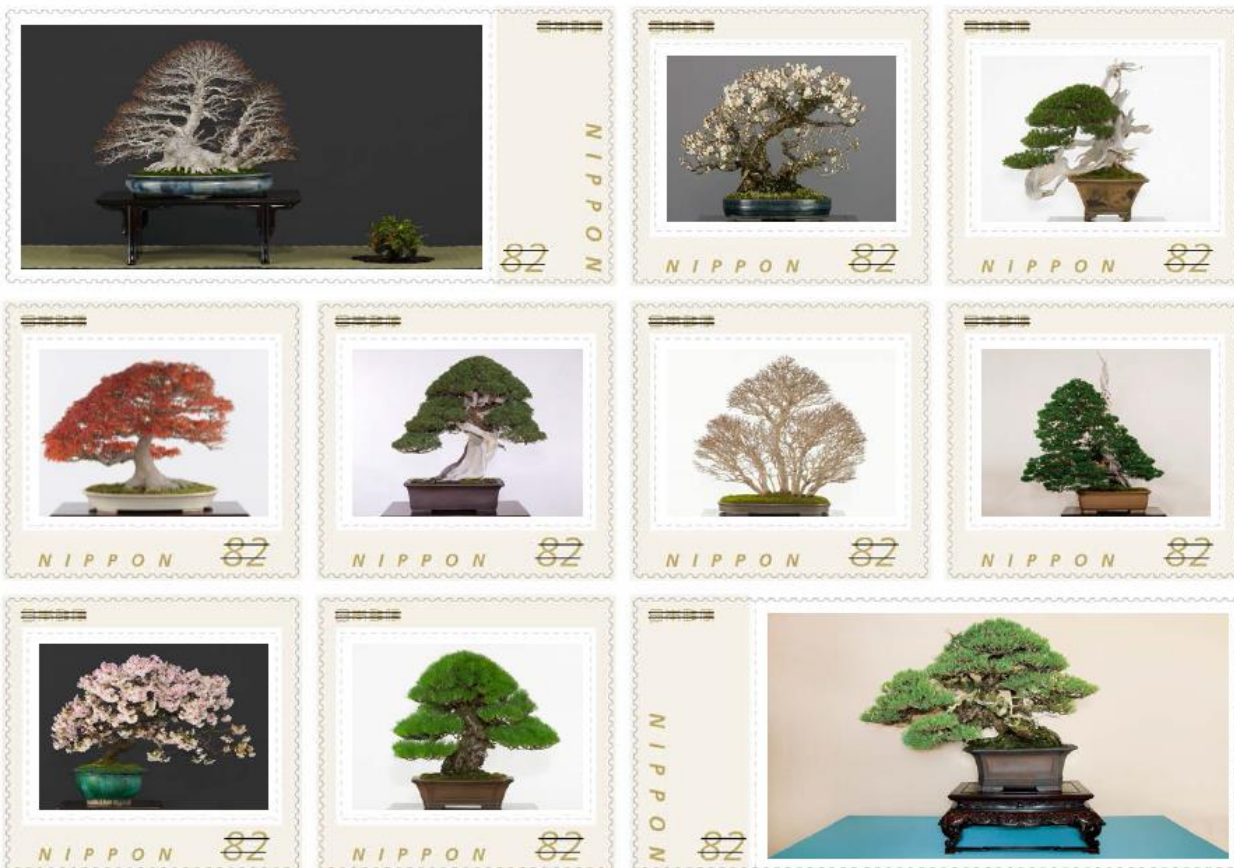


【切手デザイン】



第8回世界盆栽大会 in さいたま
The 8th WORLD BONSAI CONVENTION, SAITAMA CITY



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。



【台紙デザイン】

(表面)



第8回 世界盆栽大会 in さいたま
The 8th WORLD BONSAI CONVENTION, SAITAMA CITY



- 第1回 日本/さいたま市(旧大宮市)
1st Japan/Omiya, Saitama City
- 第2回 アメリカ/オランダ
2nd America/Ontario
- 第3回 韓国/ソウル
3rd Korea/Seoul
- 第4回 ドイツ/ミュンヘン
4th Germany/Munich
- 第5回 アメリカ/ワシントンD.C.
5th America/Washington D.C.
- 第6回 プエルトリコ/サンファン
6th Puerto Rico/San Juan
- 第7回 中国/金壇
7th China/Jintan

盆栽 野梅
Shirayuki Juniper

2017年4月27日(木)~4月30日(日)
April 27(Thurs)-30(Sun), 2017

そして、ふたたび日本へ
8th Returning to Japan in 2017!

メイン会場 Main Places

さいたまスーパーアリーナ Saitama Super Arena
大宮ソニックシティ Omiya Sonic City
パレスホテル大宮 Palace Hotel Omiya

サブ会場 Sub Places

武蔵一宮氷川神社 Musashi Ichinomiya Hikawa-jinja Shrine
さいたま市大宮盆栽美術館 The Omiya Bonsai Art Museum, Saitama
大宮盆栽村 Omiya Bonsai Village

■主催: 第8回世界盆栽大会inさいたま実行委員会(The 8th World Bonsai Convention, SAITAMA CITY Executive Committee)
【事務局】一般社団法人日本盆栽協会(Nippon Bonsai Association)
■共催: さいたま市(Saitama City)

(裏面)



第8回 世界盆栽大会 in さいたま
The 8th WORLD BONSAI CONVENTION, SAITAMA CITY



真柏(しんぱく)・銘「飛龍」

太い幹が奔放に屈曲徐転を繰り返す幹の迫力が最大の見どころです。その迫力を強調するように、枝もワンスよく隆起されています。幹の白く見える部分はずべておぼろげ、樹の芯の部分が残ったもので舍利(シャリ)と呼ばれています。



ふな・銘「鰻」

日本の広い範囲に自生する落葉樹。秋田県白神山の天竺林は世界遺産に登録されています。この樹は、若木の頃から大切に管理されており、繊細にほかれた枝先の美しさが見事です。



野梅(やばい)

ウメには様々な品種がありますが、野梅はもっとも原種に近いものとされています。古色蒼然とした幹ですが、枝一面に清らかな花を咲かせぬやしさも感じさせます。



一位(いちじ)

昔、この材から茶(しゃく)・東郷の時に右手に持つ龍(りゆう)を作ったことから、百位の一位にちなんで、この名があると言われています。豊かな幹の迫力は見る者を圧倒します。



もみじ(もみじ)

もみじには様々な品種がありますが、やや縮れて丸まった姿が特徴なのが獅子頭です。小枝を作りにくくとされていましたが、この樹は枝ぐれは素晴らしい、紅葉も鮮やかです。



真柏(しんぱく)

真柏としては大人しい樹形ですが、幹の曲線と枝の配置のバランスが良く、落ち葉した後の美しさが特徴です。鉢も良く合っていて、お互いの能力を高めています。



かえで

たくさんの葉材を一つの鉢に植えて、林の景観を演出しています。この盆栽は樹齢が10年以上経過し、自然林を彷彿とさせる一帯感が醸し出されています。



真柏(しんぱく)・銘「昇天の龍」

第1回世界盆栽大会(1989年)の時にはポスターに使用した名木です。海外でもトップコンの愛称で知られた、日本の盆栽界を代表する著名な名木の一つです。



寒桜(かんざくら)

サクラは日本を代表する花木ですが、引き締まった姿の寒桜は意外と数少ないです。この樹はほかに植えられた樹に比べると、自然林を彷彿とさせる一帯感が醸し出されています。



黒松(くろまつ)

誰もが盆栽という言葉から連想する、堂々とした姿に気品と風格が感じられる。万葉の歌集によって、黒松らしい雄々しさが強調され、大樹の姿がイメージされます。



五葉松(ごまやま)・銘「観和」

五葉松は日本の広い範囲に自生しており、盆栽としては大人気があります。この樹は自生樹らしい樹姿を強調しつつも、長年の丹精によって美しい姿にまとめられています。

【ポストカードデザイン】

